災害公営住宅・道路等復旧状況調査

平成30年12月12日
議員12名（1名欠席）

定例会休会日を利用し、災害公営住宅等の現場視察を行い、工事の進捗状況等詳細な説明を受けた。

県職員から説明を受けた

◎被害が大きかった、村道喜多・垂玉線の道路復旧工事は県代行で進められている。

長野側2工区は工事が完了し、袴野入口までは通行できる。残りの工区は法面復旧の為の仮設工事・河川の災害工事との関連で難工事のようであり、3月末完成を目指し、2班体制で行われている。

◎中野1・2工区（東急第2分譲地）がけ崩れ対策工事は法面安定のための鉄筋挿入工事がほぼ完了。現在河川のブロック積みが進んでいる。

◎下西原団地災害公営住宅の整備工事は現在、北側の棟から内装工事が完了して南側の棟・集会場の整備が進んでいる。

馬立団地は3工区に分けて工事が進み、西側3工区から内装工事が行われていた。

整備が進む馬立団地

「すいげん」42号では、西原村よりかなり遅れていると書いたが、西原村は村有地での建設に対し、本村は民有地の選定・交渉及び農振解除等に時間が掛かったもので、関係課や工事業者も精一杯頑張っている。

◎立野ダム工事事務所の技術副所長より事業概要・活断層の位置・放流孔の仕組みと流木対策・景観・環境保全の取り組み・見学ツアーなどの説明を受けた。また、上部リムトンネル・立坑を見学し、ダム駅・仮設備ヤードの位置と地域整備計画の説明を受けた。初めてダム現場に行った議員たちも工事に関する知識が増えたようだ。

ダム工事の視察風景

◎県が整備し、昨年11月に完成した草千里展望所展望デッキを視察。広さ280㎡、スロープ延長71ｍで、840人が乗れる。総工費7500万円。

つづいて、村敷地内にある廃業したレストラン建物を確認。景観的にも問題がある廃屋で、早期撤去が望まれる。

視察予定だった中岳火口は、火山ガス発生による立入規制のため中止。

広報研修報告

全国町村議会広報研修
平成30年10月9日～10日
委員6名　事務局2名

9日、シェーンバッハ・サボー（東京都）で行われた研修に参加。「読み手に伝わる文章の書き方」「デザインの力でもっと議会広報誌に」「全国コンクールで最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」について各講師より学んだ。

県町村議会広報研修会
平成30年11月13日
委員6名　事務局1名

グランメッセ熊本（益城町）で行われた研修会に参加。「今、脱皮の時！新時代の議会広報にチャレンジ」をテーマに研修を受けた。

積極的に研修会に参加しながら、質の高い広報紙を目指し、今後の紙面づくりに成果を発揮していきます。